

九月一日

十時研究室ミーティング。研究室の方向性を示すために現代に
関しての歴史的雑感を述べる。我ながら熱が入り、四十五分の演
説になってしまった。研究室内のディスコミュニケーション状態
を大正時代に始まりをもつ都市サラリーマンの大衆性、それを基
盤とした大正デモクラシー、大正ロマンの女性原理らしきものと
の類似から始めて、説いた。スタッフ、学生は何の為に私がかく
も吠えているのか、不可解だろうとは考えたが、でも吠えてしま
った。

昭和の世界大戦の参入は大正期の余りの平板な平和に因があつ
た。その歴史を参照すれば二〇〇三年現在の混乱と平和は再びそ
のようなクライシスを呼び起こす因であると考えざるを得ない。
大正後半期、日本が政治・経済両面に於いてパリ講和会議以来の
二〇世紀的世界システムに適応できなかった事を思い起こさねば
ならぬ。今の日本の混乱は湾岸戦争以来、九・一一NYテロリズ
ム、アフガニスタン、イラク戦争と続く二十一世紀的無秩序に全
く対応できぬ事から起きている事である。北朝鮮の核の問題は深
刻な問題である。いついかなる戦争が起きてもおかしくはない。
オウム真理教事件の危機体験を経ているというのに、実に我々は
政治に鈍感な民族である。十五時半ミーティング修了。今日が
最期の全体参加スタイルの会合であった。教育は膨大な徒労の上
に築かれるか、と君子の振りをしてみたくもなる。

博士課程の三名の論文相談。流石に博士課程の論文相談は少々
ハードだ。中国の庭園研究、モンゴルのゲルのオリエンテーショ
ン、日本の家政学的住居学、それぞれ面白いテーマなのだが、私
のテーマとは皆少々離れている。モンゴル民族史とコスモロジー
なんて面白そうだけれど、もう手を延ばしている時間は無い。G
A・HOUSEES原稿書く。

山口勝弘先生のところまで撮ったスライドの現像が出てきた。良
い感じでとれている。言うも恥かし、俺は写真上手いのかも知れ
ない。早速一葉選んでコメントを附してみる。

二二時四〇分、京王線新宿駅、電車の中で立って発車を待つて
いる。隣のサラリーマン風男二名、OL風女性二名ケイタイをピ
クピクさせながら、しゃべくっている。別の人間とメールしながら
ら会話している。ケイタイの使い方の話した。座席に座っている
人間もほとんど皆ケイタイをピクピクさせている。この人達はこ
こに居ながら、ここに居ない人達なのだ。車内通勤空間のリアル
さはそれによつて遊戯空間に変化している。なじめない。世田谷
村に帰る。雑草が生い茂る中をかきわけて玄関へ。草の匂いが息
づまる程で少々元気を取り戻す。